

双葉西小だより

令和5年12月22日 文責 学校長 窪田 正幸



がんばった2学期！健康で安全な冬休みを！！

気温35度を超える厳しい残暑の中スタートした2学期も、今日で81日間の幕を閉じ、1つの区切りを迎えました。今年は、5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に変更されたこともあり、学習や行事が感染前に近い状況まで戻ってきました。一方で、11月頃からインフルエンザの流行が急拡大し、本校でも臨時休業措置をとった学年や学級もあるなど、依然として、感染症対策には気を配らなければならない日々が続きました。また、校舎の長寿命化に伴う改修工事を実施しながらの学校生活は、子どもたちにも保護者の皆様方にもご不便やご迷惑をおかけしたことと思います。



改めて4月からここまでをふり返ってみますと、保護者・地域の皆様方には、各学年の学習ボランティアでの支援、登下校の見守り等、様々な場面で子どもたちのためにご協力をいただきました。子どもたちは、日常の授業、児童会活動、学年行事等の取り組みを通して、心や体も大きく成長したと感じています。心より感謝を申し上げます。



明日から始まる17日間の冬休みは、この1年間を振り返ると同時に新しい1年に向けて抱負を持つよい機会です。健康と安全に気をつけて有意義な冬休みを過ごすことができるように、ご家庭でも子どもたちへのご指導をよろしくお願いいたします。また、大掃除や新年を迎える準備等、家族の一員としての手伝いや体験活動을しながら、ぜひ子どもたちとのふれあいの時間をたくさんとってほしいと思います。

保護者・地域の皆様方の、双西小教育への深いご理解とご協力に、改めて感謝申し上げます。どうぞ良い年をお迎えください。

終業式での校長の話

2学期の始業式の日、校長先生はみなさんに、2学期頑張ってもらいたいこととして『3つの「あ」』の話をしました。

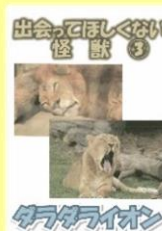
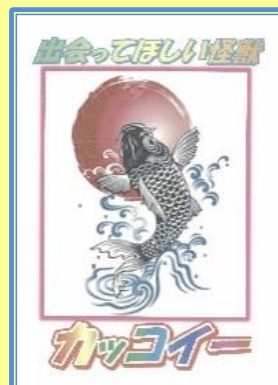
一つ目は、「あいさつ」でした。相手の目を見て、笑顔で「おはようございます」「さようなら」「こんにちわ」など、あいさつがきちんとできるようにしましょう、と話しました。

二つ目は『あいての「あ」』でした。相手の立場にたった言葉づかいや行動ができるようにしましょう、と話しました。

三つ目は、「あきらめない心」でした。目標やめあてを立てたら、途中で投げ出さずにそこに向かってあきらめずに努力をしていきましょう、と話しました。

一人一人が、『3つの「あ」』ができたかどうか振り返ってみてください。これは、みなさんが、楽しく充実した学校生活を送っていく上で、ぜひ大切にしてほしいと考えていることです。2学期だけでなく、これからもずっとできるように取り組んでほしいことです。ぜひ、3学期も、この『3つの「あ」』ができるように頑張ってくれるとうれしいです。

明日からの17日間の冬休みを、楽しく安全に過ごすために、校長先生からは一言だけ、「毎日の目的をもって過ごしてください」ということを伝えたいと思います。遊びも大切ですが、それだけでなく、例えば「おうちのでつだいをしよう」「冬休みの友を2ページしよう」「縄跳びを30分しよう」など、遊び以外の目的を毎日しっかりとって過ごしてほしいと思います。そうすればきっとみんな「かっこいい」冬休みが過ごせると思います。まちがっても一日中「ダラダライオン」にならないように気をつけてくださいね。



自分たちの活動を改めて考えた児童会役員選挙

今月12日（火）に児童会役員選挙（立会演説会・投開票）が行われました。インフルエンザの感染拡大があったため、予定を1週間遅らせての開催となりましたが、選挙管理委員会（3～6年代表）のみなさんが計画・準備をしてくれたおかげで、程よい緊張感に包まれた、意義ある会となりました。

立候補者がいる4・5年生は、先月の早い段階から、この日のために準備を進めてきました。どの立候補者もしっかりとした責任者と心強い推薦者と共に、候補者の考えや良さをアピールするための多くの工夫をして支持拡大を訴えてきました。立会演説会では候補者とその責任者が、大勢の前での緊張はあったと思いますが、堂々とした態度と聴き取りやすい声量・スピードで演説を行うことができました。これもこれまでの児童会活動がベースとして子どもたちに根づいているからこそのことだと思います。今回の取り組みを通して、児童会活動は自分たちの手で行わなければならないことを再認識できたのではないのでしょうか。立候補者、責任者、推薦者、応援者、選挙管理委員、投票者等、選挙に関わった全員がとても頑張り、どの子にも成長がみられました。



演説の様子を聞きに来た2年生



立候補者・責任者のみなさん



自分で決めた大切な1票

GIGAワークブック

授業視察

山梨県教育庁生涯学習課の方を含め9名の方が、一人1台端末を活用した授業の視察のために来校しました。3年2組と5年2組の授業の様子を見ていかれました。端末を使いながら、子どもたちが生き生きと表現したり友達と交流したりしている様子に大変驚かされていました。また、子どもたちが落ち着いて学習に取り組んでいること、校舎内の環境が整っていることなど、GIGA以外にも大変よい評価をいただきました。

今後も引き続き、効果的な端末活用について実践を積み重ねていきたいと思います。



甲斐市教育委員会指定「コミュニティ・スクール推進事業」研究発表会

平成24年度に、県下初のコミュニティ・スクールとなり、以降、その実践発表を3年に1度行っています。今年度は、その公開研究発表の年となり、令和6年1月26日（金）の午後に実施を計画しています。甲斐市が指定する、教職員対象の研究発表会のため、保護者の参観はできませんのでご了承ください。また、当日は特別日課となるため、公開授業実施クラスである3年2組と5年2組以外は下校時刻が早まります。詳細は、1月になってからお知らせします。ご理解とご協力をよろしくお願いします。